

第 2 総務企画班

1 管内及び沖縄県の人口（令和5年度版より前年度の数値を掲載）

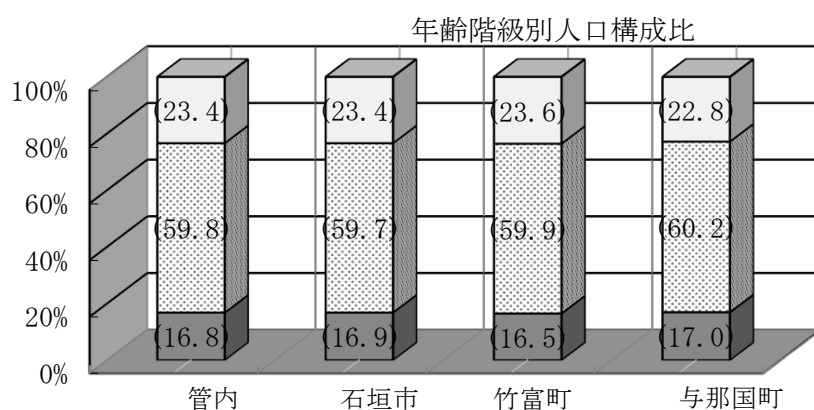
（1）世帯数及び人口

（令和4年9月30日現在）

	世帯数	人 口			年齢階級別人口		
		総数	男	女	年少人口 (0～14歳)	生産人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
管 内	28,567	54,979	27,681 (50.3)	27,298 (49.7)	9,255 (16.8)	32,856 (59.8)	12,868 (23.4)
石垣市	25,064	49,001	24,558 (50.1)	24,443 (49.9)	8,261 (16.9)	29,270 (59.7)	11,470 (23.4)
竹富町	2,538	4,279	2,192 (51.2)	2,087 (48.8)	706 (16.5)	2,563 (59.9)	1,010 (23.6)
与那国町	965	1,699	931 (54.8)	768 (45.2)	288 (17.0)	1,023 (60.2)	388 (22.8)

出典：八重山管内世帯数・人口、「住民基本台帳」（各市町）より

※ 下段は構成比（単位：％）



八重山管内3市町の老年人口の割合が22%を超えており、年々高齢化が進行して、超高齢社会になっている。

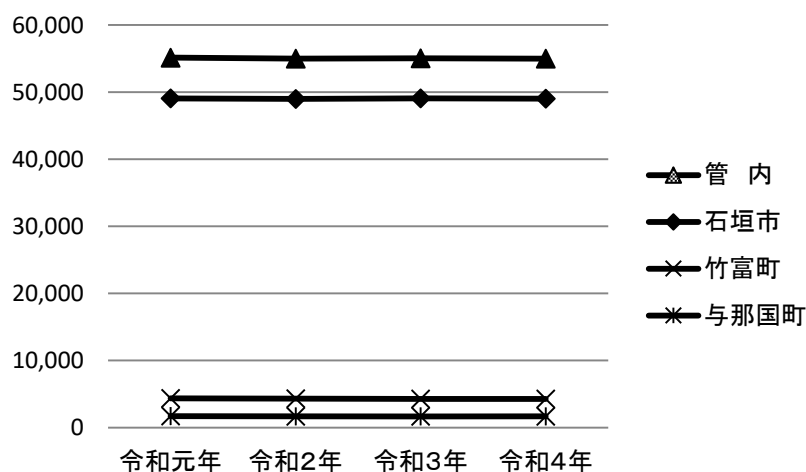
■ 年少人口（0～14歳） ■ 生産人口（15～64歳） □ 老年人口（65歳以上）

（2）人口の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
沖縄県	1,454,184	1,458,839	1,459,886	1,468,634
管 内	55,136	54,994	55,016	54,979
石垣市	49,054	48,986	49,050	49,001
竹富町	4,368	4,312	4,297	4,279
与那国町	1,714	1,696	1,669	1,699

出典：沖縄県人口、「沖縄の統計」（沖縄県統計資料WEBサイト）より。

管内人口、「住民基本台帳データ」（各市町）より。

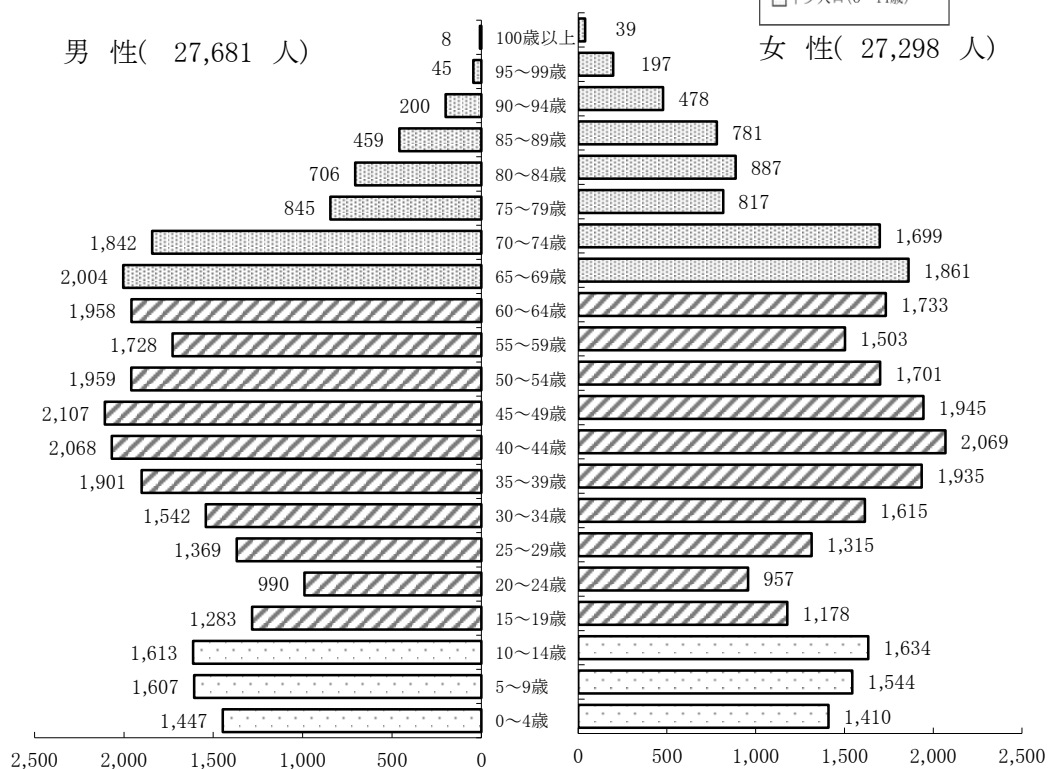


沖縄県の総人口は年々増加しており、管内の市町においては、横ばい状況が続いている

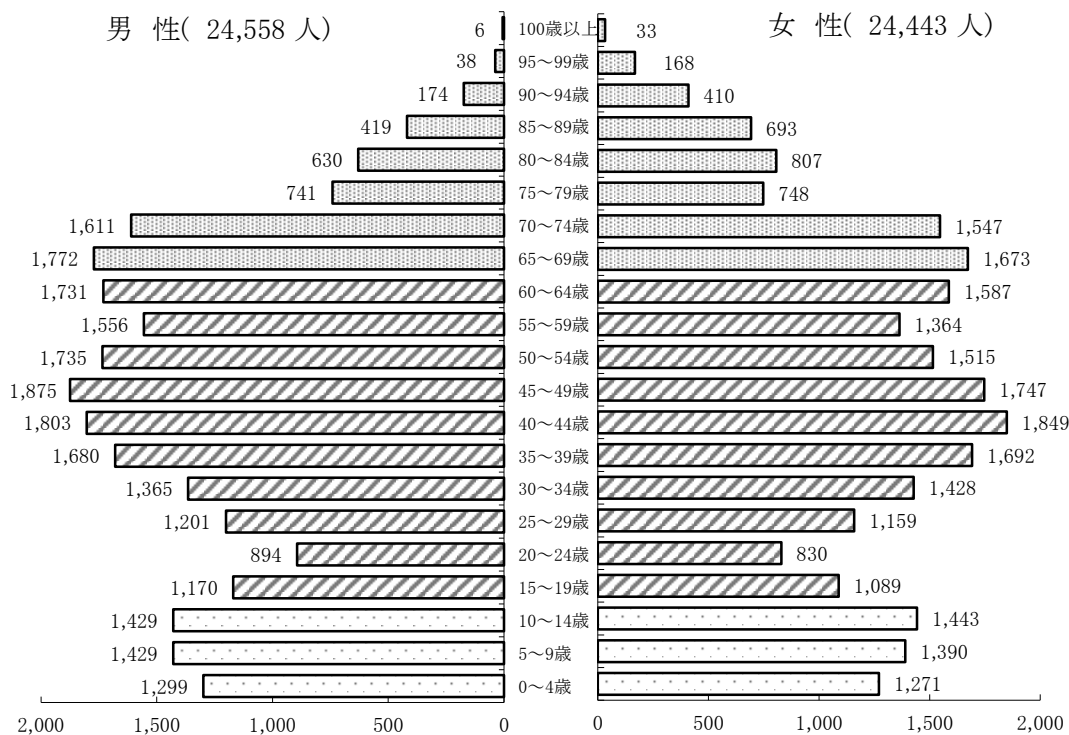
出典：上表と同じ。

(3) 年齢階級別人口構成 (令和4年9月末現在)

ア 八重山管内

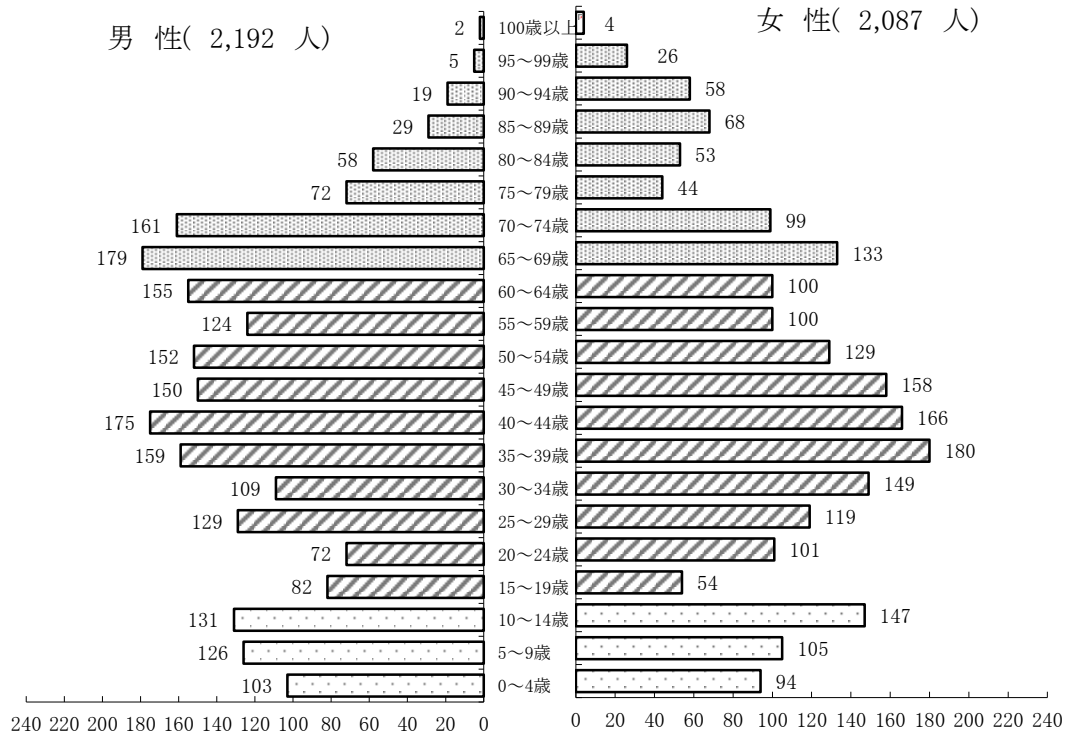


イ 石垣市

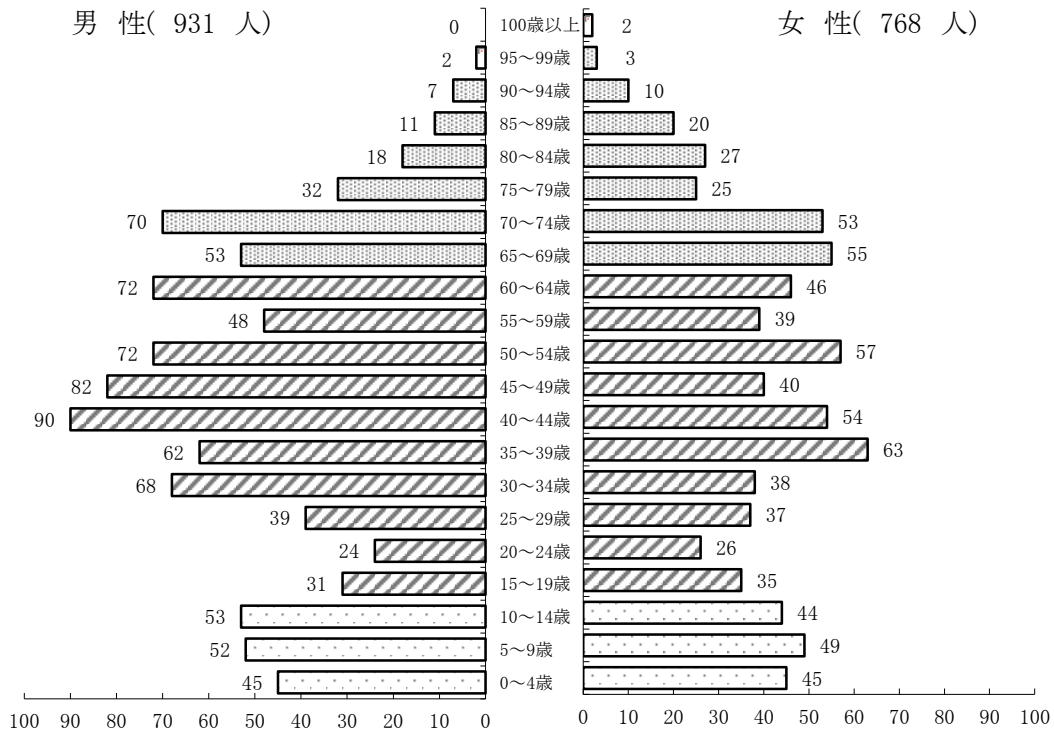


出典：管内人口は、各市町の住民基本台帳データより算出。

ウ 竹富町



エ 与那国町



出典：同左頁と同じ。

2 人口動態

(1) 人口動態統計とは

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の「人口動態事象」について、その実態を明らかにするために、各届出書によって作成された人口動態調査票を取りまとめたものである。(令和5年度版より前年度の数値を掲載)

用語の解説

自 然 増 加 出生数から死亡数を減じたもの

低 体 重 児 生まれた時の体重が2,500グラム未満の新生児

乳 児 死 亡 生後1年未満の死亡

新 生 児 死 亡 生後4週(28日)未満の死亡

早期新生児死亡 生後1週(7日)未満の死亡

死 産 妊娠満12週(妊娠第4月)以後の死児の出産。死児とは、出産後において心臓はく動、随意筋の運動及び呼吸のいずれをも認めないもの。

自 然 死 産 と
人 工 死 産 人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに人工的処置(胎児又は附属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用)を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。
1) 胎児を出生させることを目的とした場合
2) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合

周 産 期 死 亡 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡をあわせたもの

比率の解説

$$\text{① 出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\text{② 自然増減率} = \frac{\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\text{③ 乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{④ 死 産 率} = \frac{\text{年間死産数(自然・人工・不明)}}{\text{年間出産数(出産+死産)}} \times 1,000$$

$$\text{⑤ 低体重児率} = \frac{\text{年間低体重児数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

(2) 人口動態総覧

令和4年

		八重山管内				石垣市				竹富町				与那国町			沖縄県		全国	
		男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	実数	率	実数	率
出生		274	277	551	10.0	249	241	490	10.0	18	28	46	10.8	7	8	15	13,594	9.3	770,759	6.2
	再掲	—	—	70	127.0	30	35	65	132.7	2	3	5	108.7	0	0	0	1,535	112.9	72,587	9.4
死亡		308	242	550	10.0	279	216	495	10.1	22	20	42	9.8	7	6	13	15,054	10.3	1,569,050	12.6
	再掲	1	0	1	1.8	1	0	1	2.0	0	0	0	0.0	0	0	0	23	1.5	1,356	0.9
乳児死亡		—	—	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	7	0.5	609	0.4
	再掲	—	—	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	7	0.5	609	0.4
自然死産		—	—	10	17.8	—	—	8	16.1	—	—	1	21.3	—	—	1	299	21.5	15,179	19.3
	再掲	—	—	7	12.5	—	—	5	10.0	—	—	1	21.3	—	—	1	157	11.3	7,391	9.4
人工死産		—	—	3	5.3	—	—	3	6.0	—	—	0	0.0	—	—	0	142	10.2	7,788	9.9
	再掲	—	—	3	5.3	—	—	3	6.0	—	—	0	0.0	—	—	0	142	10.2	7,788	9.9
周産期死亡		—	—	2	3.6	—	—	2	4.1	—	—	0	0.0	—	—	0	42	3.1	2,527	3.3
	再掲	—	—	2	3.6	—	—	2	4.1	—	—	0	0.0	—	—	0	35	2.6	2,061	2.7
妊娠22週以降の死産		—	—	0	0.0	—	—	0	0.0	—	—	0	0.0	—	—	0	7	0.5	466	0.6
	再掲	—	—	0	0.0	—	—	0	0.0	—	—	0	0.0	—	—	0	7	0.5	466	0.6
早期新生児死亡		—	—	292	5.3	—	—	266	5.4	—	—	20	4.7	—	—	6	6,546	4.5	504,930	4.0
	再掲	—	—	136	2.5	—	—	124	2.5	—	—	9	2.1	—	—	3	3,087	2.1	179,099	1.4
婚姻		—	—	136	2.5	—	—	124	2.5	—	—	9	2.1	—	—	3	3,087	2.1	179,099	1.4
	再掲	—	—	136	2.5	—	—	124	2.5	—	—	9	2.1	—	—	3	3,087	2.1	179,099	1.4

出典：率計算に用いた全国の人口、「人口推計(令和5年9月20日)」(総務省統計局)より。

管内の人口動態総覧実数、「令和4年(2022)沖縄県人口動態統計(確定数)の概況」(沖縄県HP)より

管内の出生(低体重児)は、「調査票情報(人口動態統計)」(厚生労働省)より算出。

管内人口は、「住民基本台帳」(各市町)より。

※率は全て千分率(‰)である。

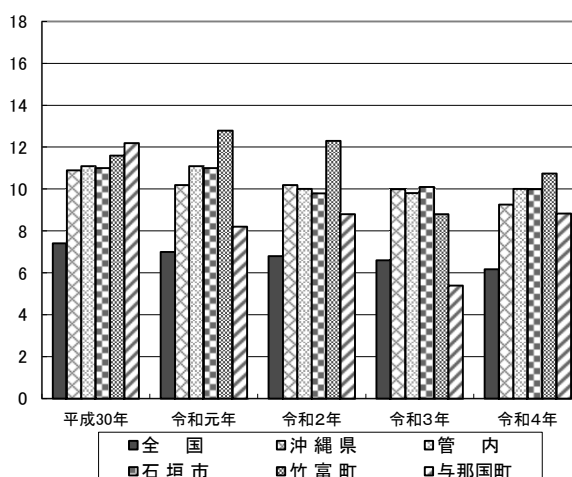
(3) 出生率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	7.4	7.0	6.8	6.6	6.2
沖 縄 県	10.9	10.2	10.2	10.0	9.3
管 内	11.1	11.1	10.0	9.8	10.0
石 垣 市	11.0	11.0	9.8	10.1	10.0
竹 富 町	11.6	12.8	12.3	8.8	10.8
与那国町	12.2	8.2	8.8	5.4	8.8

※率は全て千分率(‰)。

出生率＝年間出生数／10月1日現在日本人口×1,000

出生率の年次推移



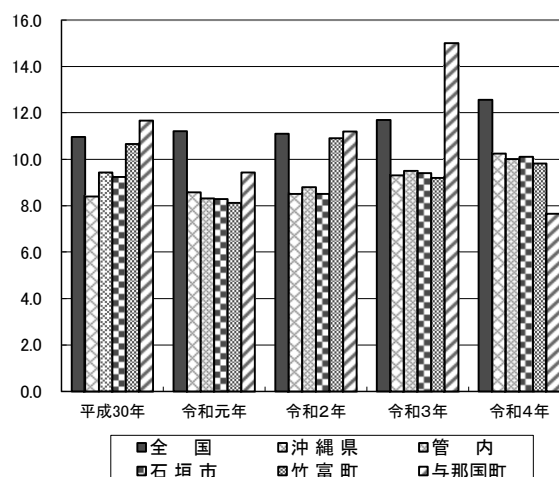
(4) 死亡率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	11.0	11.2	11.1	11.7	12.6
沖 縄 県	8.4	8.6	8.5	9.3	10.3
管 内	9.4	8.3	8.8	9.5	10.0
石 垣 市	9.2	8.3	8.5	9.4	10.1
竹 富 町	10.7	8.1	10.9	9.2	9.8
与那国町	11.7	9.4	11.2	15.0	7.7

※率は全て千分率(‰)。

死亡率＝年間死亡数／10月1日現在日本人口×1,000

死亡率の年次推移



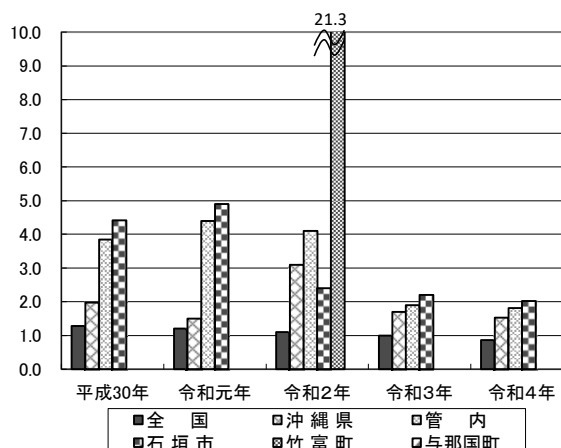
(5) 乳児死亡率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9
沖 縄 県	2.0	1.5	3.1	1.7	1.5
管 内	3.8	4.4	4.1	1.9	1.8
石 垣 市	4.4	4.9	2.4	2.2	2.0
竹 富 町	0.0	0.0	21.3	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

乳児死亡率＝年間乳児死亡数／年間出生数×1,000

乳児死亡率の年次推移



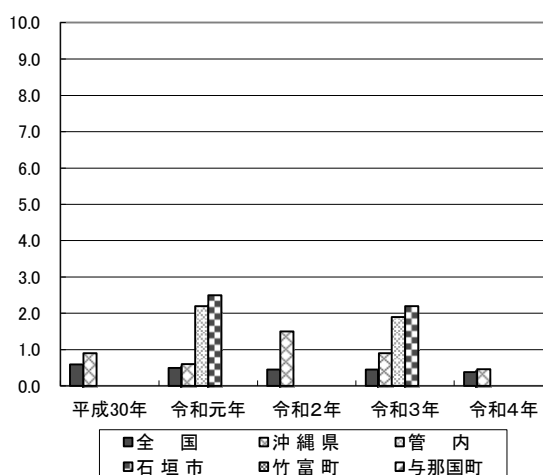
(6) 新生児死亡率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4
沖 縄 県	0.9	0.6	1.5	0.9	0.5
管 内	0.0	2.2	0.0	1.9	0.0
石 垣 市	0.0	2.5	0.0	2.2	0.0
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

新生児死亡率＝年間新生児死亡数／年間出生数×1,000

新生児死亡率の年次推移



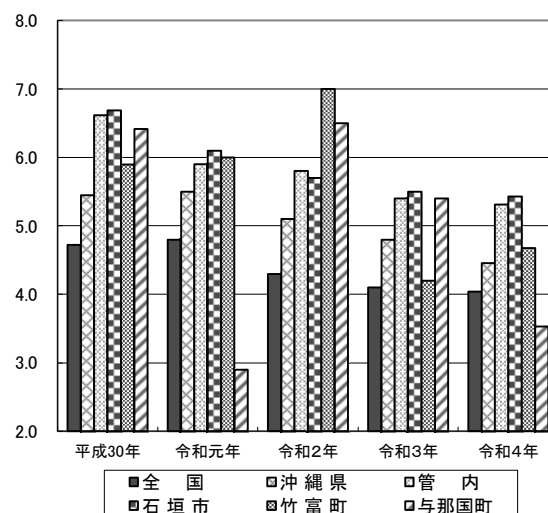
(7) 婚姻率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	4.7	4.8	4.3	4.1	4.0
沖 縄 県	5.4	5.5	5.1	4.8	4.5
管 内	6.6	5.9	5.8	5.4	5.3
石 垣 市	6.7	6.1	5.7	5.5	5.4
竹 富 町	5.9	6.0	7.0	4.2	4.7
与那国町	6.4	2.9	6.5	5.4	3.5

※率は全て千分率(‰)。

婚姻率＝年間婚姻届出件数／10月1日現在人口×1,000

婚姻率の年次推移



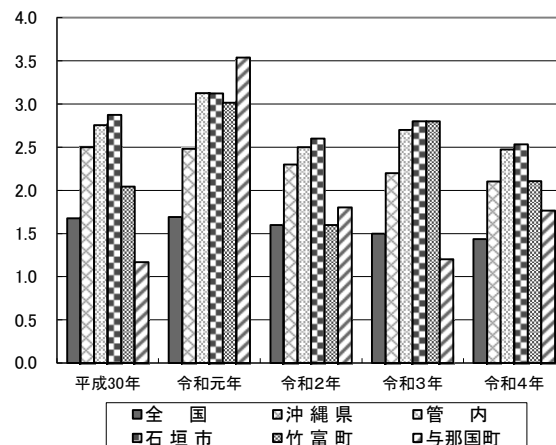
(8) 離婚率の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	1.7	1.7	1.6	1.5	1.4
沖 縄 県	2.5	2.5	2.3	2.2	2.1
管 内	2.8	3.1	2.5	2.7	2.5
石 垣 市	2.9	3.1	2.6	2.8	2.5
竹 富 町	2.0	3.0	1.6	2.8	2.1
与那国町	1.2	3.5	1.8	1.2	1.8

※率は全て千分率(‰)。

離婚率＝年間離婚届出件数／10月1日現在人口×1,000

離婚率の年次推移



3 死亡統計

(1) 管内の死因順位

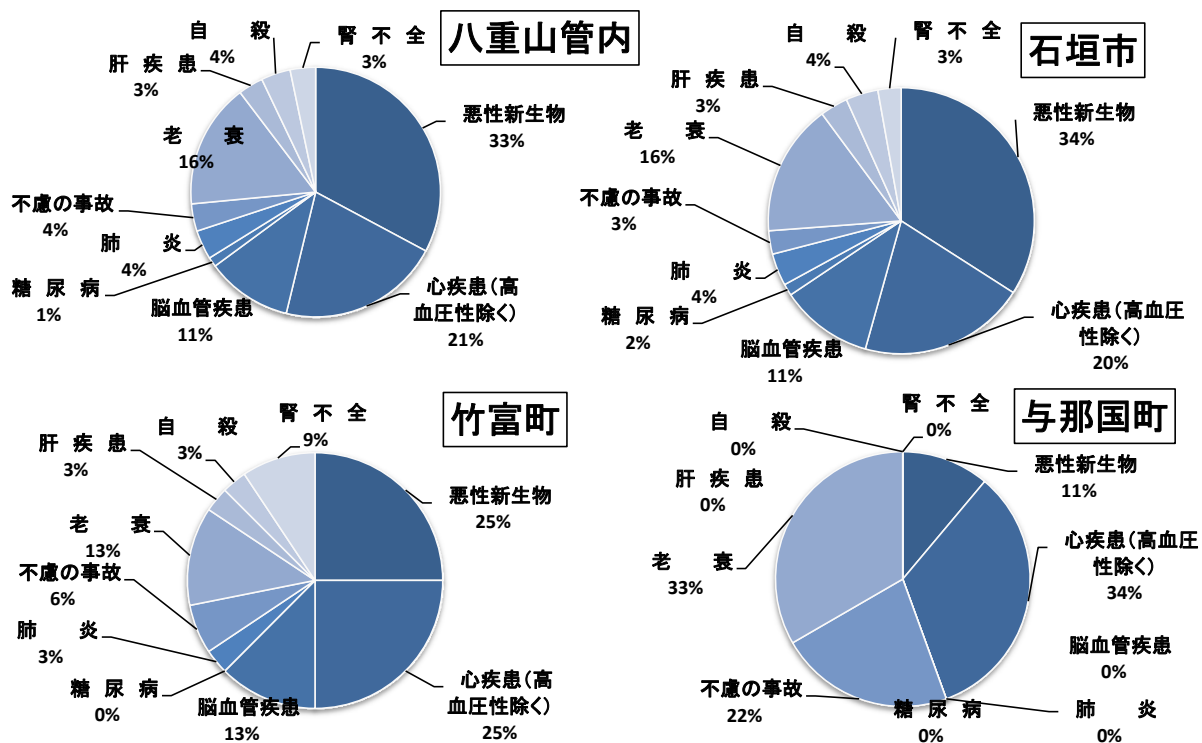
	1 位			2 位			3 位		
	死因	実数	率	死因	実数	率	死因	実数	率
令和4年	悪性新生物	130	23.6	心疾患	83	15.1	老衰	64	11.6
令和3年	悪性新生物	123	23.5	老衰	73	13.9	心疾患	51	9.7
令和2年	悪性新生物	139	26.5	老衰	66	12.6	心疾患	54	10.3
令和元年	悪性新生物	117	25.6	心疾患	52	11.4	老衰	40	8.8
平成30年	悪性新生物	136	26.2	心疾患	70	13.5	老衰	65	12.5

※死因分類表中分類項目を表記

出典：「令和4年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

(2) 令和4年市町村別主な死因

	八重山管内			石垣市			竹富町			与那国町		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
悪性新生物	130	82	48	121	79	42	8	3	5	1	0	1
心疾患(高血圧性除く)	83	49	34	72	43	29	8	3	5	3	3	0
脳血管疾患	44	21	23	40	18	22	4	3	1	0	0	0
糖尿病	5	3	2	5	3	2	0	0	0	0	0	0
肺炎	15	10	5	14	9	5	1	1	0	0	0	0
不慮の事故	14	13	1	10	9	1	2	2	0	2	2	0
老衰	64	16	48	57	15	42	4	1	3	3	0	3
肝疾患	13	13	0	12	12	0	1	1	0	0	0	0
自殺	15	13	2	14	12	2	1	1	0	0	0	0
腎不全	13	5	8	10	4	6	3	1	2	0	0	0
計	396	225	171	355	204	151	32	16	16	9	5	4



出典：「令和4年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

4 合計特殊出生率

(1) 合計特殊出生率とは

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

(2) 算出方法

県の合計特殊出生率と同様に5歳ごとの年齢階級別に算出する。

$$\text{合計特殊出生率} = \left(\frac{\text{母が15歳～19歳の出生数}}{\text{15歳～19歳の女性人口}} + \cdots + \frac{\text{母が45歳～49歳の出生数}}{\text{45歳～49歳の女性人口}} \right) \times 5$$

(3) 令和4年八重山管内の母の年齢階級別出生数及び女性の年齢階級別出生率

年齢階級	母の年齢階級別出生数				女性の年齢階級別出生率			
	管内	石垣市	竹富町	与那国町	管内	石垣市	竹富町	与那国町
15～19歳	3	3	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
20～24歳	40	40	0	0	0.04	0.05	0.00	0.00
25～29歳	123	116	6	1	0.09	0.10	0.05	0.03
30～34歳	191	164	18	9	0.12	0.11	0.12	0.24
35～39歳	147	127	16	4	0.08	0.08	0.09	0.06
40～44歳	45	38	6	1	0.02	0.02	0.04	0.02
45～49歳	2	2	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
総 数	551	490	46	15	0.35	0.36	0.30	0.35

出典：母の年齢（5歳階級）別出生数 人口動態統計保管統計表（政府統計の総合窓口（e-Stat））より。

女性の年齢階級別出生率、「住民基本台帳データ（令和4年9月30日）」（各市町）より。

(4) 令和4年市町村別合計特殊出生率

	令和4年	平成25～29年	増減
八重山管内	1.77	2.07	△ 0.30
石垣市	1.81	2.14	△ 0.33
竹富町	1.48	1.63	△ 0.15
与那国町	1.73	1.98	△ 0.25

出典：平成25～29年の数値、「平成25～29年人口動態保健所・市町村別統計」（政府統計の総合窓口（e-Stat））より。

(参考)

	令和4年
沖縄県	1.70
全国	1.26

出典：「令和4年(2022)沖縄県人口動態統計(確定数)の概況」（沖縄県HP）より